

## カメラから日付コピー (2.1)

可不可

2012 年 11 月

### 1 アプリの紹介

このアプリは 2 つの機能があります。ファイルコピーと EXIF<sup>\*1</sup> 日付タグを書き換えることができます。

#### 日付付きファイルコピー

私は、iPhone を持っていて、写真、動画を撮っています。また、パナソニックのハイビジョンカメラでホームビデオを撮っています。撮った画像は PC にコピーして DVD に焼いたり、印刷しています。しかし、不満があります。それは、画像ファイル名が”img0123.jpg”のような一連番号になっていることです。これじゃいつ撮った画像かも分からない。せめて、ファイル名は”20120101-133030.JPG”(2012 年 1 月 1 日 13 時 30 分 30 秒撮影) くらいの名前にして欲しい。

幸い、ファイルにはタイムスタンプという属性に「作成日時」「更新日時」「アクセス日時」があります。カメラから PC にコピーすると、PC 側のファイルの作成日時はコピーした日時になります。しかし、更新日時は変わりません。そこで、コピーするときに、更新日時を取得し、ファイル名に置き換えれば、ファイル名を一連番号名から日付に変換できます。ついでに、日時の後に「旅行、運動会」などのコメントも付加できます。

#### EXIF の撮影日時書き換えコピー

もう一つの機能は、ビデオカメラの動画を GOM プレーヤーで見ながらキャプチャして JPEG にして印刷しています。ところが、撮影日のタグがキャプチャした日付になっています。プリントに使用するアプリ<sup>\*2</sup>は、日付付きで印刷すると、撮影日タグを印字するので、撮影日がキャプチャした日付になり、おかしいことになります。

そこで、前述の機能を使った日付付きファイルであれば、ファイル名に設定した日付を撮影日タグに再設定します。

また、コメント機能はありません。上書きではなく、同じフォルダに”DATE”という字が付いたファイル名でコピーされます。

注意 アプリをエプソン E-Photo で試したところ、書き換え不能な別のタグから撮影日を取得していて、スキャンした日時になってしまいます。残念ながら同アプリでのこの機能は使えません。

---

<sup>\*1</sup> JPEG 画像に撮影データを埋め込む規格

<sup>\*2</sup> キヤノンの Easy-PhotoPrint EX です

### ご注意

本アプリケーションを使ったことで生じるいかなる被害に対して、作者はいかなる責任も負いません。使用者の責任によりご利用ください。

## 2 使い方

使い方は簡単です。起動すると図 1 のようなウインドウが開きます。

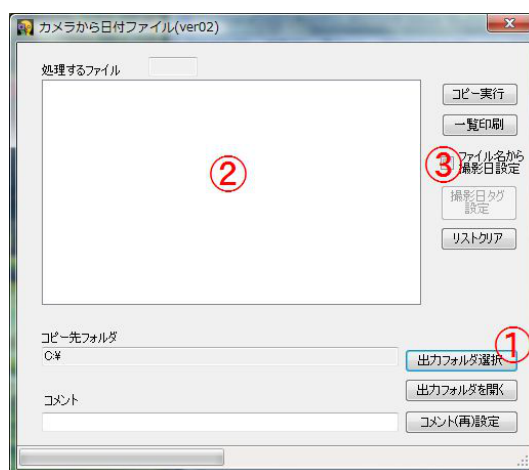


図 1 起動画面

### 2.1 日付付きファイルコピー

1. 「コピー先フォルダ」を指定します。「出力フォルダ設定」①のクリックで設定ダイアログが出ます。
2. 「処理するファイル」にファイルを D&D してください。
3. 新しい日付付きファイル名と、オリジナルファイル名が <> で囲まれて表示されます。
4. 必要なら「コメント」欄にコメントを書き、「コメント (再) 設定」ボタンをクリックします。コメントが付加されたファイル名が再表示されます。
5. 表示行を左クリックするとコンテキストメニューが出ます。「プレビュー」でファイルに設定されたアプリでプレビューできます。(ダブルクリックでもできます)
6. 「コピー実行」をクリックすればコピーが開始されます。
7. 一旦書いたコメントを消すには、コメント欄を空白にして「コメント (再) 設定」ボタンをクリックします。
8. 不要なファイルがある場合は、コンテキストメニューの「削除」を選びます。
9. 「一覧印刷」は、②で表示されているものを印刷します。

「コピー実行」が使用不能の時は、撮影日時書き換えモードになっています。「ファイル名から撮影日設定」③のチェックを外せばできるようになります。

コメントは当然ファイル名に含まれるので、半角の ㍿,<,>,:;,/,—,?,\*は使えません。(全角は使えます)

この機能はファイルの”更新日時”をファイル名にするものなので、画像に限らず、ファイルなら日時付き

ファイルになります。

## 2.2 EXIF の撮影日時書き換えコピー

動画ファイルを上の”日付付きファイルコピー”機能でコピーすると、”20120830-083636.MTS”という名前になります。<sup>\*3</sup>これを Gom プレーヤーで再生しながら静止画にキャプチャすると、”20120830-083636.MTS\_000001101.jpg”というように、元ファイル名 + 番号になり、jpeg の EXIF 撮影日タグは、キャプチャした日付になります。

そこで、ファイルの頭にある日付を jpeg の EXIF 撮影日タグに再設定します。当然ながら、頭に日付のないファイルや、Jpeg 以外は対象外になります。ここでいう「日付」とは”20120830-083636”というように、ファイル名の頭が半角数字 8 桁 + 半角マイナス + 半角数字 6 桁で始まるものを指します。

日付を再設定したファイルは、元ファイルと同じ場所で、元ファイルに”DATE”という文字が付きます。元ファイルはそのまま残ります。コメント機能ありません。エプソンのアプリ、E-Photo では使えません。使い方これまた、簡単です。

1. 「ファイル名から撮影日設定」③をチェックします。
2. 日付タグを設定したいファイルを D&D します。(日付のないファイル、Jpeg ではないファイルは D&D しても表示されません)
3. 「撮影日タグ設定」をクリック

## 3 おわりに

自分の欲しい機能のみのアプリなので不満もあると思います。

- ファイルを D&D してから出力フォルダの変更ができない。
- 撮影日タグの書き換えでファイルの上書きができない、コメント設定ができない
- エプソン E-Photo では、スキャン日時でしか印字されない

など、ご不満もございましょうが、自分的には満足しているのでご了承ください。

質問、ご意見その他は show\_land@hotmail.co.jp までお願いします。

使用したアイコンは友人の小松さんに頼みました。ありがとうございました。またお願いします。

---

<sup>\*3</sup> パナソニックの場合